

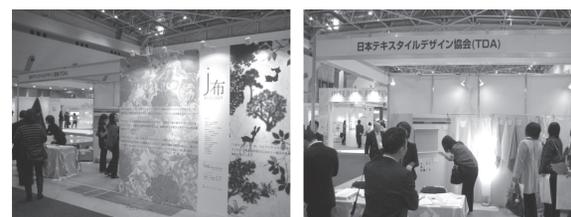
ライフスタイル展「j布エコロジー」の報告



「IFFT/インテリアライフスタイルリビング」が11月19日(水)~22日(土)の4日間、東京ビッグサイト東1・2・3ホールで開催されました。今回の展示企画は従来の「東京国際家具見本市」を様変わりさせて、メサゴ・メッセフランクフルト(株)が運営し、高田公平氏と南村佳男氏のプロデュースによるインテリア総合見本市として開催されました。その結果、来場者は26,912名(前年比118%)に増えました。「IFFT/インテリアライフスタイルリビング」メイン展示は、中央第2ホールに「2009年ハムテキスタイル」トレンド展示とホームテキスタイルに焦点を絞った「世界のテキスタイルエディター」と「日本のライフスタイルブランド」のコラボレーション企画「heimtextil × lifestyle brands」が実施されました。そのメイン展示の正面奥の所(開口36m奥行き3m)に当協会が「j布エコロジー」の出展を致しました。出展概要は、下記の13社の協賛企業と1社の協力企業によって会員20名が72点の生地とクッション他小物類55点を展示しました。中央展示には古屋興一氏のピースフルネット(蚊帳)をシンボル展示としてライフスタイルのイメージ演出をしました。展示アンケートには309名の方からご回答を頂きました。BtoBの展示会でのプロの方々から、テキスタイルのエコロジー製品への関心度あり(264名)、「j布エコロジー」の展示方法について良かったと思う(235名)、展示作品へのお褒めの言葉「DNA感じる作品」などのご評価を得ました。出展された朝比奈由起子氏・福井健二氏・古屋興一氏の3名の方がアンケート好評賞で表彰されました。今回の「j布エコロジー」展示は、日本のテキスタイルデザインに一石を投じることが出来たのではないかと思います。日本テキスタイルデザイン協会としてこれに驕ることなく一層の研鑽を重ね、世界に発信するジャパンクオリティの高揚に努力して、日本のテキスタイルデザイナーの地位を確立していく企画にしていきたいと思います。「j布エコロジー」展示企画は、当協会会員と賛助会員・協賛企業による協力とご支援によってこれからも益々発展して行く内容でした。(東郷 清次郎)

<出展者> 朝比奈由起子・新井明子・新井教央・怡田勉・池端禎三・今井弘子・岩岡利津子・大高亨・大場麻美・梶原加奈子・神沢郁子・中矢祥久・中山陽子・福井健二・古屋興一・宮崎直子・矢澤寿々子・山口道夫・わたなべひろこ・渡辺好紀
<協賛企業> ㈱アコスファブリックハウス・一宮㈱・NI帝人商事㈱・㈱黒沢レース(フェニックス㈱)・㈱ノームラトレーディング・㈱タネイ・㈱ソトー・岸繊維産業㈱・クスカ㈱・神戸レザークロス㈱・湖東繊維工業協同組合・光織物(有)・環聖
<協力企業> 住友スリーエム㈱
<企画運営> プロデュース:今野文雄・運営:大場麻美・東郷清次郎

JAPANTEX 2008「j布エコロジー」



日本テキスタイルデザイン協会は、11月19日から22日まで東京ビッグサイト西館で開催されたJAPANTEX 2008 に「j布エコロジー」を出展した。「j布エコロジー」は、日本インテリアファブリックス協会の協力のもと、JAPANTEX 2008 への出展者を中心にエコロジー関連製品の出品を呼び掛け、TDAのテキスタイルデザイナーがコーディネートし、展示するという試み。また、エコロジー関連商品のインデックスという機能を持たせるために、エコロジー関連商品を展示している出展者リストも紹介した。

エコロジーがテーマということもあり、一度限りの造作と廃棄という展示ではなく、「何度も使える展示」をコンセプトに、既成サイズの合板を既製の家具や小物雑貨等を組み合わせ、室内をイメージする展示を行った。また、将来的には若い会員にも参加して欲しいという狙いもあり、なるべく業者に発注せずに、手作りの展示を心がけた。

最終まで、どんな製品がどの程度集まるか分からず、エコロジー関連商品そのものが地味であることもあり、インパクトの強い展示にはならなかったが、一つ一つの製品をいかに工夫して展示するか、ということを目指したつもりだ。

これを機会に、日本インテリアファブリックス協会やインテリアファブリックス企業との取り組みを強め、最終的には企業とのコラボレーションによる商品開発につなげたいと考えている。今回はその第一歩という位置づけと理解してほしい。

今回の展示プロジェクトでは、呼び掛けに応えた会員により企画運営を行った。(坂口 昌章)

総合プロデュース:坂口昌章
企画運営:東郷清次郎・佐口昌司
展示デザイナー:芝崎るみ・齋藤佳子